綾里復興まちづくりニュース

発行日　2012年6月18日
発行者　災害復興まちづくり支援機構　＋　富士常葉大学　池田浩敬　木村周平　＋　首都大学東京　饗庭伸　饗庭研究室（東京都八王子市南大沢1-1　042-677-2359／aib@tmu.ac.jp）

計画づくり、スタート！

部会を設けて復興計画づくり

あの大震災から1年以上が経ちました。その間、仮設住宅地が建ち、漁業も再開し、高所移転の話し合いも進むなど、ゆっくりしたスピードですが少しずつ復興が進んできました。

綾里地区復興委員会ではこれまでの1年間で、住民の意見も交えつつ4度の委員会を開催して、綾里の復興について協議してきました。これまで二度にわたり要望書を市長に提出し、高所移転や公営住宅の希望を募り場所選定などを行ってきました。

一方で、それぞれの復興の事業が個別に進む事により、綾里地区全体としてバランスが悪くなってしまったり、地区の中で進み方の差が出てきてしまう事が想定されます。また、最終的な復興のゴールまで、長い時間がかかることも考えられ、地域の中で、長期的な視点をもって、長く続けられるようにすることも重要です。そこで、これからの復興まちづくりの事を、総合的に、長期的に考えて実行していくための「復興まちづくり計画」をつくることを、綾里地区においてスタートさせたいと考えています。

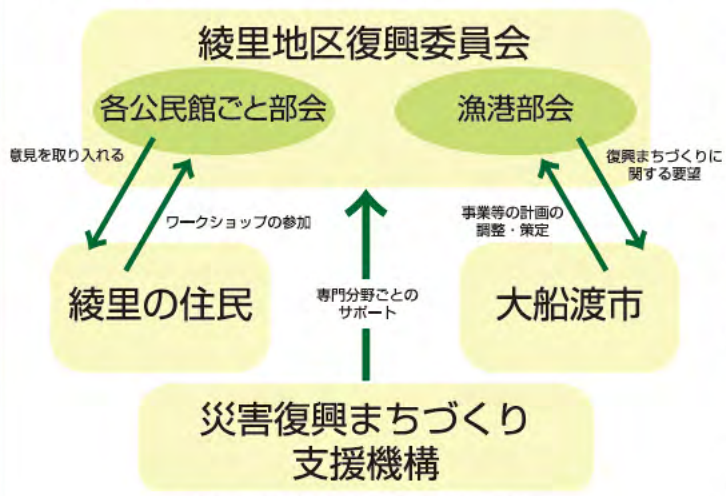
具体的には、復興についてより具体的に話し合う「部会」を復興委員会の中につくり、その部会で話し合いを重ねて案をつくり、全体の復興委員会でそれを議論して綾里地区全体の復興計画としたいと考えています。

部会は6月からは以下の3つでスタートし、以後、段階的にスタートさせていきたいと考えています。

（1）漁港周辺検討部会（漁協のメンバーを中心に漁港周辺の復興を検討する部会）
（2）田浜部会
（3）港・岩崎・　野形・宮野部会
（4）小石浜部会

また、復興まちづくり計画の作成にあたっては、東京で活動しているまちづくりの支援組織である「災害復興まちづくり支援機構」および富士常葉大学（静岡県）、首都大学東京（東京都）の手を借りて進める事となりました。

これから部会を通じて今まで以上に住民のみなさんにご参加をいただき、みなさんの意見や考えを集めていきたいと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。



綾里地区復興委員会の組織構成

復興まちづくりニュースについて

多大な被害を受けた東日本大震災。その中で多くのものを失いましたが、残されたまちの魅力も多く存在します。私たち首都大学東京饗庭（あいば）研究室は、復興委員会や大船渡市役所と協力して、この綾里地区の復興に携っており、綾里住民の方々へのインタビューや現地調査等を通して、綾里地区の課題や魅力について調査し、復興計画の策定のお手伝いをしています。

この「綾里復興まちづくりニュース」は、綾里地区にお住まいの方々に復興まちづくりに関する情報を伝える目的で作りました。元の生活の豊かさを早く蘇らせると共に、新たな魅力を引き出せるようなまちづくりに向け、震災の記録やまちの魅力を毎月発信していきたいと思います。

饗庭研究室のメンバーです。
もし町中で見かけたら声をかけてください！

市への意見要望

復興委員会では、2011年9月と2012年3月に大船渡市長に対して要望書を提出し、綾里地区の被災者を含む住民の要望を訴えてきました。現在、具体的な各項目ごとの検討が始まっています。

第一次提言書 項目要旨

1．人の命と住家を守る防災に強い街づくり
　道路整備(21項目)
　防災施設（21項目）
　住居の高台移転（6項目）
2．産業の再生（6項目）
3．公共施設（5項目）
4．教育施設（8項目）
5．その他（9項目）

↓

大船渡市災害復興局との調整
住民による要望事項の再吟味

要望書 項目要旨

1）防潮堤の早期建設
2）県管理（綾里）漁港の早期復旧
3）市管理（小路・田の尻・野々前・砂子浜・小石浜）漁港の早期復旧
4）総合こども園の早期建設
5）災害公営住宅の早期建設
6）綾里川堤防及び道路の改修施工
7）消防分遣所の早期建設
8）綾里所の早期復旧
9）集団移転の早期実現
10）被災地の買い上げ
11）被災地内の主要避難路整備
12）県道バイパスの改良整備
13）綾里小学校校庭の整備

復興のあゆみ

少しずつ着々と復興のための取り組みが進んでいます。ここでは、これまでの復興委員会の動きや大船渡市の動きを時系列に沿って並べてみました。

	綾里地区復興委員会の動き	大船渡市の動き
2011年 3月	11日 東日本大震災発生	
6月		4月20日 災害復興基本方針決定 5月24日 黒土田仮設住宅、竣工 14日 復興に向けた地区懇談会
7月	29日設立発起人会 13日綾里地区復興委員委嘱状交付 設立委員会（総会）	8日 復興計画骨子決定
8月	3日 第2回復興委員会 29日 第3回復興委員会	30日 地区懇談会開催
9月	4日 第一次提言書に関する説明会 7日 第一次提言書、市長に提出	
10月	12日 市復興局との懇談会 31日 被災者アンケート調査票回収	31日 大船渡市復興計画策定
11月	1日 市復興局との懇談会	
12月	23日 市・県等関連部署との懇談会	
2012年 1月	13日 被災者と市復興局の懇談会（港・岩崎・石浜） 22日 被災者と市復興局の懇談会（田浜）	
2月	10日 第2回被災者アンケート（仮設入居者以外）回収 27日第4回復興委員会	
3月	2日 復興計画に関わる中間報告（進捗状況）住民説明会 9日 要望書、市長に提出	29日 大船渡市復興整備計画策定
4月	29日 大学・支援機構との懇談会	22日 大船渡市議会選挙
5月		

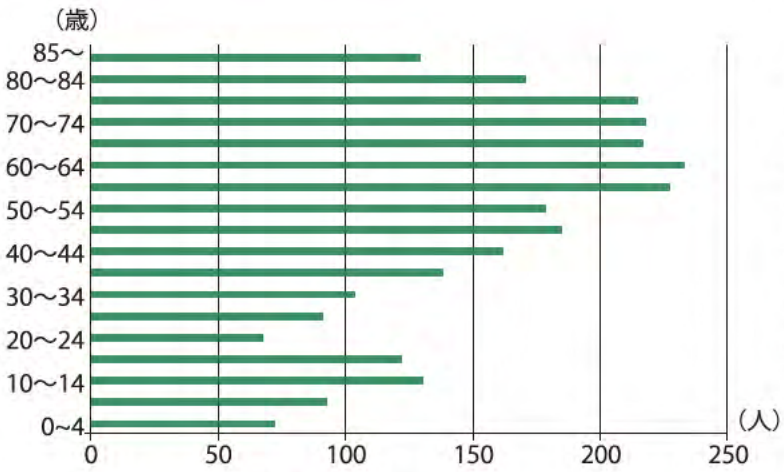
綾里地区復興委員会は、震災後3ヶ月経った2011年6月29日に設立発起人会、7月13日には設立委員会（総会）が開かれました。これまで、綾里内の被災地区や漁港、高台移転候補地などの視察、また復興委員会を開催し意見のとりまとめを行うなどして、綾里の復興計画づくりを着実に進めてきました。昨年9月には、地域の復興に関する要望を取りまとめた第1次提言書を大船渡市長に提出し、その後も市などと調整を行い、要望を具体的に13項目に絞り込んだ第2次要望書を今年3月に提出しました。

わたしたちの綾里を知る

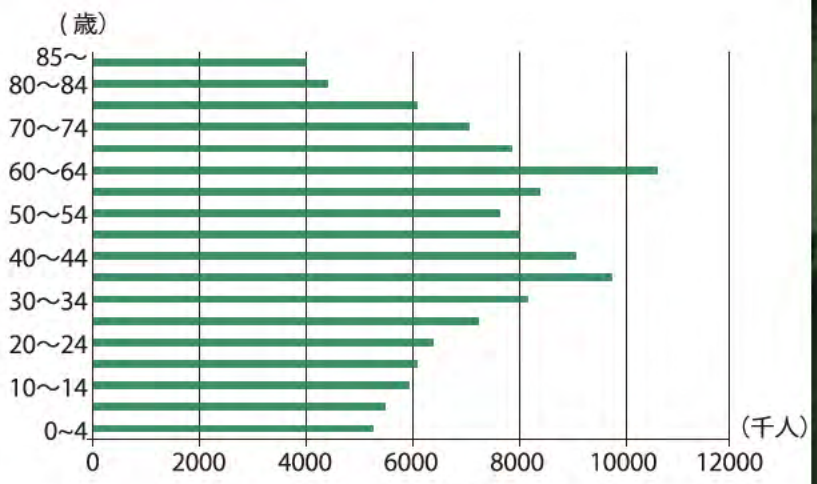
人口構成から見た綾里

東日本大震災において、綾里地区では26人の方がお亡くなりになりました。しかし、震災前である平成22年度の綾里地区の人口2754人に対して、震災後である平成24年度4月30日現在の人口は2726人となっています。このことから、震災後もほとんどの方が綾里地区にそのまま住んでいることがわかり、復興に向けての活気は十分にあると言えます。綾里地区の年齢別に見た人口（平成22年度）は左下の図のようになっており、20代前半の人口が少ないことがわかります。これは、大学などの進学に伴い、他の地域へ移る方が多いことが原因と考えられます。日本全体の年齢別に見た人口（平成22年度）と比べると綾里地区は子供の割合はあまり差がないのですが、20代～40代の人口が少なく、70歳以上の方が多いことがわかります。高齢の方でも働いている方が多いため、長寿な町となっていると考えられます。

綾里地区では、震災後も多くの方が続けて住んでおり、小中学生の子供が多く、高齢の方も多く働かれていることから、復興に向けての活気は十分にあると言えます。



綾里地区の人口構成図



日本全体の人口構成図

綾里を訪問調査

4月29日～5月3日まで首都大学東京饗庭研究室により、住民の方々にインタビューをしました。質問内容は主に、震災前、震災後、将来の3点を中心にお伺いしました。

震災前については、職場や買い物先など生活圏を中心として、運動会やお祭りなど地域のイベント、他の集落との関わりなどをお聞きしました。震災後については、震災による影響や震災前との生活変化を中心にお聞きしました。みなさん漁業に関しての意見が多く、綾里地区における漁業に対する期待を感じ取りました。また、浸水域のみでなく、復興地や他地区での震災影響も調査し、実際の綾里地区全体の被害状況を把握する事が出来ました。さらに将来に関して、今後の自身の生活や綾里のまちづくりに対する意見、要望をお聞きしました。今までの生活、綾里のまちを取り戻したいといった意見が多く、住民のみなさんが抱く、綾里への思いを実感しました。

インタビューと同時に綾里地区の全集落を訪問し、フィールドワークを行いました。主に現地状況把握、仮設施設調査、資源課題調査です。

現地調査では、震災被害や復旧作業の進度、街並みや地形の把握など、綾里固有の自然や文化の把握調査を行いました。仮設施設調査では、地図の更新を目的として、震災後新たに建設された仮設施設を地図にプロットしていきました。結果は、紙面4枚目に掲載されており、今後も更新していく予定です。資源課題調査では、観光や産業、生活面における資源調査と、土砂崩れなどの危険区域や日常生活における改善点の課題調査を行いました。

今回の調査によって感じた大きな印象は、綾里地区における漁業への思いです。復興における漁業への期待が大きく、それに懸ける思いから、漁業を中心として復興していく大きな将来像を、みなさんが自然に共有しているのでは、と感じました。

今回、調査グループは初めて綾里を訪れ、データでは把握し切れない新たな発見が多くありました。さらに、これからの活動を通じて、みなさんの思いを共有していきたいと思います。

また、今回の調査にご協力して頂いた皆様、ありがとうございました。

『第1回 復興まちづくりワークショップ ＋ 復興なんでも相談会』開催します

開催日時：6月24日（日）
13時～16時
（ご都合の良い時間にお越しください）
開催場所：綾姫ホール

今まで綾里地区復興委員会によって、さまざまな活動がされてきました。復興計画づくりの第一歩として、今回のワークショップでは、それら復興まちづくりに関する情報を、住民のみなさんと共有したいと思います。また、住民のみなさんの意見や要望などを共有する機会ともなります。今回のワークショップ対象地区は、港・岩崎・野形・宮野・田浜地区となりますが、他地区の方の参加も大歓迎です。

ワークショップに並行して、災害まちづくり支援機構への相談会を行います。左記の専門家が参加予定です。

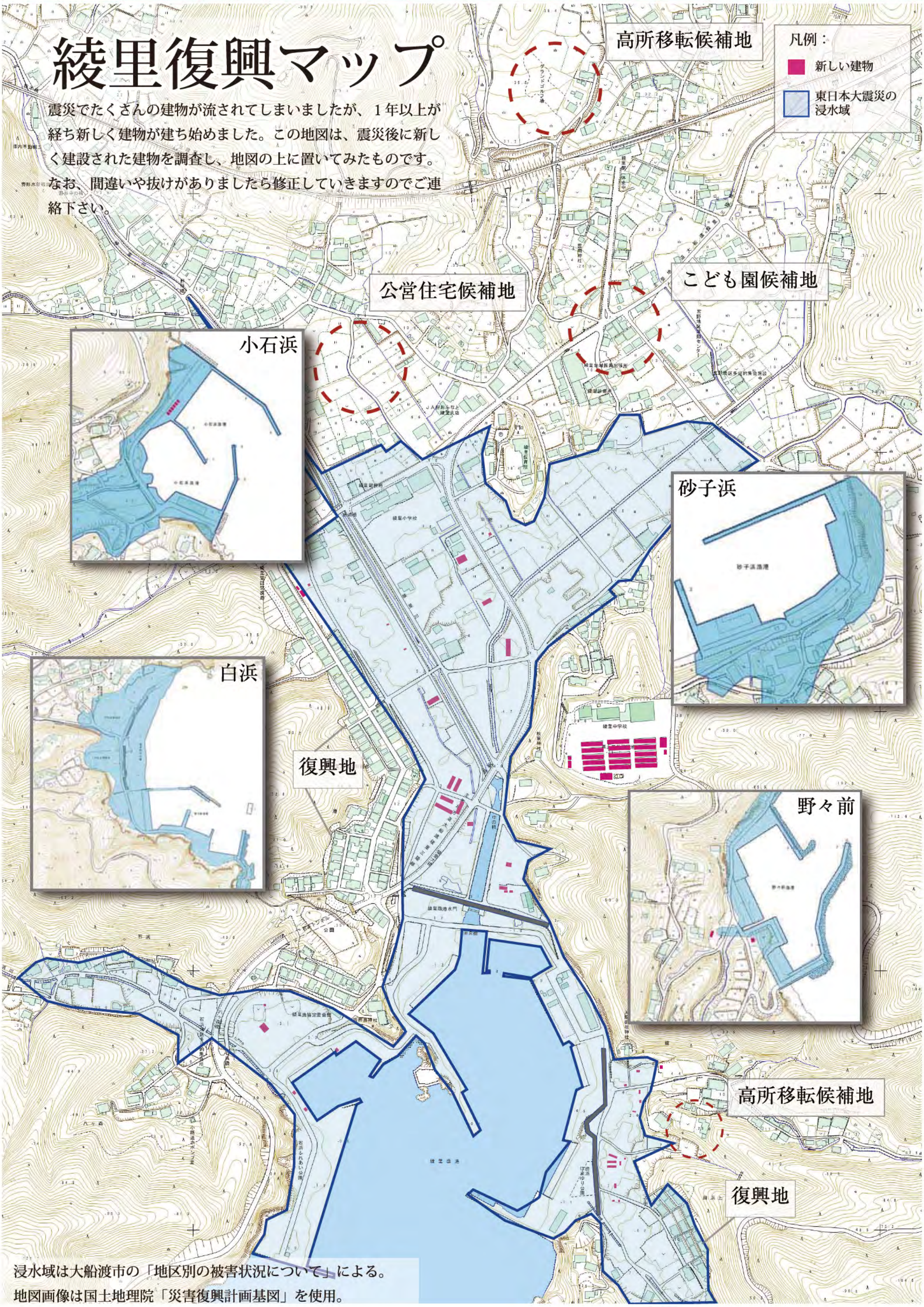
不動産鑑定士　土地家屋調査士
社会保険労務士　建築士
中小企業診断士　司法書士

お気軽にお越しください

写真はイメージです

綾里復興マップ

震災でたくさんの建物が流されてしまいましたが、1年以上が経ち新しく建物が建ち始めました。この地図は、震災後に新しく建設された建物を調査し、地図の上に置いてみたものです。なお、間違いや抜けがありましたら修正していきますのでご連絡下さい。



浸水域は大船渡市の「地区別の被害状況について」による。
地図画像は国土地理院「災害復興計画基図」を使用。